



Sumitomo Corporation

日米の若いリーダーシップの育成を目指す「TOMODACHI イニシアチブ」教育プログラム

～日米関係の促進に興味を持つ米国への交換留学生(大学学部生)対象～

2017 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムご案内 及び 第 4 期生募集要項

東日本大震災後の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンと東京の米国大使館が主導する官民パートナーシップ「TOMODACHI イニシアチブ」に住友商事株式会社は 2013 年に参画し、一億円の寄付を行い本プログラムをスタートさせました。本プログラム対象大学の学生としてアメリカの大学へ交換留学をする学部生に対して、渡航費および留学中の生活費を支援として、1 名につき年間 150 万円の奨学金を支給します。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や帰国後は TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通して、日米間関係に深く関わる様々な人々との交流などを通して、次世代のリーダーとしてのスキル向上を支援します。



■ TOMODACHI イニシアチブとは

Mission

TOMODACHI イニシアチブとは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す官民パートナーシップです。

Vision

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協動的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

History

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本は TOMODACHI イニシアチブを開始しました。TOMODACHI は公益財団法人 **米日カウンシル-ジャパン** と在日米国大使館が主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

Program

現在、**教育、文化交流、リーダーシップ**を3つの柱として、年間約50本のプログラムを実施しています。また、**TOMODACHI Alumni Leadership Program**を通してプログラムの壁を越えて参加者同士が交流を持てるような様々な機会を設け、日本とアメリカの若者たちにインスピレーションを与え、TOMODACHI での経験をさらに一歩進めるサポートも行っています。



■ TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

「TOMODACHI イニシアチブ」の一環として実施される本プログラムは、住友商事株式会社による1億円の寄付により、アメリカの大学への交換留学をする日本の対象大学の学部生を支援するプログラムとして実施しています。参加者には渡航費および留学中の生活費を支援するため、1名につき年間150万円の奨学金が支給されます。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や TOMODACHI Alumni Leadership Program を通して、日米間に関わる様々な人々と交流し、日米関係の促進やグローバル社会に貢献できるグローバルリーダーになることを目指します。

住友商事株式会社

住友商事は、グローバルに活動している総合商社です。全世界に展開するネットワークとさまざまな産業分野における企業・消費者との信頼関係をベースに、多様な商品・サービスの国内販売、輸出入および三国間取引、国内外における事業投資など、総合力を生かした多角的な事業活動を展開しています。また、住友商事では、次世代人材の育成支援を社会貢献活動の重点分野と位置付け、アジア発展途上国における「住友商事奨学金」による学業支援や、東日本大震災の復興支援に携わる若者を支援する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」などを実施してきました。「TOMODACHI イニシアチブ」を通じて、将来、米日の懸け橋となってグローバルに活躍する多くのリーダーが誕生することを期待し、支援していきます。

The Study Abroad Foundation (SAF)

SAF は、アジアの大学生の留学を促進することにより、自国および国際社会へ貢献できるグローバル人材を育成することをミッションとしている米国インディアナ州の認可非営利教育財団です。日本、中国、台湾、韓国、ブルネイ、カザフスタンを中心としたアジアの大学生を欧米のトップレベルの大学へ派遣しています。提供している留学プログラムは、学部授業履修、語学力強化、アカデミック・インターンシップなど多岐にわたり、学生の多くは在籍大学の認定・私費留学制度に基づき留学を実現しています。SAF は TOMODACHI イニシアチブの趣旨に賛同し、プログラム実施パートナーとして TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムの運営を担当します。

2017 年度プログラム

対象者

東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学の交換留学生としてアメリカに留学する学部生

プログラム構成

日米の次世代リーダー育成プログラム



留学奨学金
(150 万円)

奨学金
授与式

(留学前)

留学への抱負や将来の目標について皆で共有

プログラム参加者が一堂に集まり、米日カウンシル、アメリカ大使館、住友商事株式会社の関係者、同じ世代の TOMODACHI アラムナイとの交流を通して、留学計画や米日関係について意見交換します。



【8月初旬】

準備金として
60 万円を支給

【9月～5月】

毎月 10 万円
を支給

※奨学金の合計
額は準備金を
含めて 150 万円

NY
研修

(留学中)

米州住友商事によるニューヨークでの研修 (1 週間程度)

米州住友商事、米日カウンシル、グローバル企業や政府機関を訪問し、日米関係に携わる若者や各界の第一人者と面談。将来の日米関係に対してどのようにリーダーシップを発揮していくかを考えるきっかけを得ます。



TOMODACHI Alumni Leadership Program

帰国後
報告会

(留学後)

留学の成果や今後の計画を発表

留学を通して学んだことを将来の日米関係の発展にどのように活かしていくかについて発表します。また、米日カウンシル、アメリカ大使館、住友商事株式会社の関係者、TOMODACHI アラムナイとの交流を通して、今後の活躍の礎となる日米のネットワークを構築します。



プログラム終了後も TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムへ参加し、日米そして世界のリーダーを目指します。

2016 年 4 月現在、TOMODACHI イニシアチブは年間約 50 のプログラムを実施しており、これまでの参加者は日米合わせて約 4,600 名になります。TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムを含む TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者 (TOMODACHI アラムナイ)は、TOMODACHI Alumni Leadership Program を通じて多くの日米の若者と交流を持ち続けながら、日米そして世界のリーダーとして活躍するために必要なスキルを磨くことができます。

第1期生からのメッセージ

(ニューヨークでの米州住友商事による研修に参加して)



平河 佑佳子さん

慶應義塾大学
法学部政治学科
ウィスコンシン大学
マディソン校へ留学

研修期間中に学んだ最も大きなことは、日米関係に貢献している人々の**パッション(気持ち)**の強さです。**米州住友商事**社長の**竹内一弘氏**と副社長兼 CFO の**南部智一氏**は研修のはじめにお会いした際、グローバルリーダーになるためには常に前進する**パッション**が重要であることを教えてくださいました。公的機関で働かれている方々との面談の中で、**パッション**について最も印象に残っているのは、**米国の連邦議会議員**である**コマキ J フォスター氏**です。日系アメリカ人で、かつ女性であるという理由で困難に直面することがあっても、様々なバックグラウンドの人々の話を聞き、米国の政治を良くする努力を粘り強く続けられているフォスター氏からは大きなエナジーを感じました。また、**日本における女性の社会的地位の向上**や日本社会での活躍についてアドバイスを求めたところ、この問題の解決が経済全体により影響を与えるということを社会に伝え、その議論に男性を巻き込んでいくことが重要であることを教えてくださいました。私は日本と米国を含む外国の懸け橋になることを目標にしてきましたが、その目標は公的機関で働くことでは達成できないと思っていました。しかしながら研修を通して様々な人々と話し、その考えは変わりました。企業と公的機関では活動目的は異なっても、目の前のタスクや課題に真剣に取り組むことで、国際社会に貢献していくことが出来るのだということを学びました。



米国の連邦議会議事堂にて議員の
コマキ J フォスター氏(中央)と一緒に



田邊 一成さん

慶應義塾大学
経済学部
カーネギー・メロン大学
へ留学

留学中にニューヨークで実施された研修を通して、自分自身が興味を持っている**ビジネス**や**経済**の分野で活躍されている様々な人に出会い、それぞれの考え方や仕事内容について学ぶことができました。TPP の交渉に携わる**在米日本大使館員**や**米国政府関係者**との面談では、改めて 2 国間の交渉の難しさを理解することができたのと同じく、公的機関で働くことを具体的にイメージする助けとなりました。また、**コロンビア大学のヒュー・バトリック教授**との面談も非常に有意義でした。**日本経済経営研究所のディレクター**であるヒュー先生は日本経済に精通しているだけでなく、日本経済に関して、経済学の観点からだけでなく、より幅広い学際的な観点からも議論されていた点に感銘を受けました。米国と日本どちらにも深く関わってきた**米州住友商事**の**役員**や**日本大使館員**の皆様より、**日米の労働流動性の違い**について話をきくことが出来た点でも、将来の自分自身のキャリアについて考える良いきっかけとなりました。また、日米の違いがそれぞれの経済や社会にどのように影響を与えているのかについて勉強してみたいと考えるようになりました。



コロンビア大学にてバトリック教授と一緒に



小北 采佳さん

東北大学文学部
人文社会学科
ハワイ大学マノア校
へ留学

研修を通して、様々なフィールドで働く、とても興味深い人々に会い、彼らの仕事、キャリア形成、そして**パッション**を知ることが出来たことは、私にとって非常にすばらしい経験でした。研修に参加する前は、企業で働くことに対するイメージを持つことが出来ず、また特に**ビジネス**や**経済**分野に興味はなく、勉強する必要性を感じていませんでした。しかしながら、研修中にこの分野に関わる様々な人に出会ったことにより、**社会**における問題を多面的に分析し、自分自身の意見を述べるようになるためにも、**ビジネス**や**経済**に関する知識を高めていかなければならないと考えるようになりました。**ハワイの日系人の経験や歴史**を研究している私にとっては、**日系アメリカ人**の方々と直接、個人的なストーリーを伺うことが出来たことも貴重な体験でした。特に、ワシントン DC で**米日カウンシル**会長である**アイリーン・ヒラノ・イノウエ氏**にお会いできたときは感動しました。また、私が研修中に滞在させてもらった**ホームステイのご家族**が、日系人の友人について話してくれました。彼女によると、**米国における日系人コミュニティ**の結束はまだまだ固く、**日系アメリカ人**と日本人の懸け橋になりたいと望んでいることを知りました。ニューヨークでの研修は、研修後に続く**ハワイ**での勉強へのモチベーションとなりました。新しい物事の見方を手に入れるきっかけを提供し、また**日系アメリカ人**に関する私の興味を追及させてくれた**TOMODACHI** および**住友商事**の皆様へ感謝しています。



米日カウンシル本部にて
アイリーン・ヒラノ・イノウエ会長(中央)と一緒に

TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムに関する お問い合わせ先

SAF 日本事務局 / TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム担当
Tel: 03-5321-6222 Email: tomodachi@studyabroadfoundation.org
URL: <http://japan.studyabroadfoundation.org>

お問い合わせの際には、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨をお知らせください。

TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム 参加学生の活躍はこちら

TOMODACHI 住友商事

TOMODACHI イニシアチブについて
>>
<http://usjapantomodachi.org/ja/>

住友商事について >>
<http://www.sumitomocorp.co.jp/>

2017 年度の申請要件等の詳細については別紙の募集要項にてご確認ください。また、申請書類の入手方法および申請締切日に関する情報は、在籍大学の国際交流・留学を担当している部署より入手してください。



2017年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム 募集要項 (学生向け)

本プログラムが指定する大学が実施するアメリカの大学への交換留学生に内定または決定している大学学部生で、TOMODACHI イニシアチブの趣旨、および本プログラムの目的を理解し、将来、日米関係を通してグローバルに活躍するリーダーになる強い意思がある学生を募集します。

【本プログラムが指定する対象大学】

東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学

【募集内容】

求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラム参加後も日米関係のさらなる発展の為にリーダーシップを発揮し、グローバルに活躍したいという強い希望がある者 ・人物および学業ともに優秀で、かつアメリカへの交換留学にあたり経済的支援を必要とする者 ・TOMODACHI イニシアチブのプログラムの経験者または将来参加することを希望している学生との交流の機会に積極的に参加する意思がある者
プログラム内容	<p>本プログラムは、アメリカへの交換留学に参加する学生を対象に日米の次世代リーダー育成を目的として実施される TOMODACHI イニシアチブの一環として実施されます。参加者は、渡航前の奨学金授与式、米州住友商事によってアメリカ留学中に提供される研修、そして留学後の帰国後報告会を通じて、日米関係に関わる人々と交流をし、日米関係の発展に求められるリーダーシップを磨きます。また留学後は、TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者を対象に実施される TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムに積極的に参加をすることが求められます。本プログラム参加者にはアメリカへの交換留学にかかる渡航費や生活費を支援することを目的とした奨学金が付与されます。</p>
奨学金支給金額	<p>150万円</p> <p>※支給スケジュール(予定): 8月初旬に留学準備金として60万円を支給し、翌月から翌年5月まで月額10万円を月初に支給。</p> <p>※上記に加え、ニューヨークでの研修中にかかる移動費および宿泊費、また留学先大学からニューヨークまでの移動費は米日カウンシルおよび住友商事株式会社にて援助。</p>
応募要件	<p>以下のすべての条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムが指定する大学に在籍している大学学部生であること。 ・在籍大学の交換留学生として、アメリカの大学に2017年8月または9月から1年間(約8~10ヵ月間)留学することが内定し、かつ単位取得を目的とした留学を計画している者 ・日本国籍又は日本における永住権を保持している者 ・過去連続して37ヶ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者 <ul style="list-style-type: none"> 注)6歳になるまでの滞在経験は含まない。 注)過去連続して13ヵ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者が望ましいが、連続する在住・滞在経験が37ヵ月未満の場合は応募可能。 ・他の給付型留学奨学金を受けない者 <ul style="list-style-type: none"> 注)貸与型の奨学金および国内の大学に就学するための奨学金であれば、本プログラムとの重複受給は可能。 ・在籍大学の学長からの推薦を受けられる者 <ul style="list-style-type: none"> 注)応募書類を在籍大学に提出した学生の中から、在籍大学内での審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定。詳細は本要項の「応募方法と選考プロセス」を参照 <p>※留学先での専攻分野に関しての限定はないが、社会科学関連(ビジネス、法学、国際関係、政治学などを含む)、人文系、理工系であることが望ましい。</p> <p>※学期中に語学コースに在籍する場合は、対象外とする。学期開始前に開催される短期の語学コースへの参加は可能。</p>
募集人数	<p>対象大学より計10名</p>
応募方法と選考プロセス	<p>アメリカの大学との交換留学プログラムの学内選抜に合格後、以下の手順で応募すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 在籍大学の国際交流・留学を担当している部署より募集要項・申請用紙を入手する。※ 2: 在籍大学の国際交流・留学を担当している部署へ次項に記載された応募書類を提出する。その後、在籍大学による審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定される。※ 3: TOMODACHI による審査を経て、在籍大学を通して合格が通知される(書類審査の過程で必要と判断された場合は、面接が実施される場合もある)。 <p>※在籍大学への書類提出先および提出期日は、在籍大学の国際交流・国際教育担当部署に問い合わせること。該当部署が不明な場合は、下部にある「本奨学金プログラムに関するお問い合わせ先」に確認すること。</p>
合格発表	<p>結果は、4月下旬までに在籍大学を通じて通知する。</p>

<p>応募書類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム申請用紙(所定用紙)(※2017年9月より公開予定) ・以下を盛り込んだ英文エッセイ (自由書式/800~1200単語/各ページにパスポートネームおよびページ数を記載すること。) <ul style="list-style-type: none"> ➢アメリカへの留学を通して達成したいこと ➢本奨学金プログラムへの参加を希望する理由 ➢自身のリーダーシップ性 ➢自身が持つグローバルな視野 ➢留学を実現するために打ち勝つ必要がある障壁(学術的、社会的、金銭的、その他個人的なことなど) ※エッセイは紙ベースの他に、ワードファイルのデータとして大学に提出。 ・留学先大学からの受入れ許可書の写し <ul style="list-style-type: none"> 注)申請時に留学先大学から発行されていない場合は、後日の提出で可。 ・在籍大学の英文成績証明書 ・TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS の公式スコアレポートの写し <ul style="list-style-type: none"> 注)オンライン上で確認できるスコアレポートでも可。 注)応募するにあたって満たす必要のあるスコアの規定は無い。 ・パスポートをカラーで印刷したもの(顔写真があるページ) <ul style="list-style-type: none"> 注)日本国籍保持者でない場合は、在留カードの写しを添付すること。 ・証明写真(4cm×3cm/カラー) <ul style="list-style-type: none"> 注)裏面にパスポートネームを記載した上で、申請用紙1枚目の所定の欄に糊付けすること。別途の添付は不要。 <p>※選考の過程で必要と判断した場合、更なる書類の提出を求める場合がある。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・留学の内容が変更になった場合や交換留学への参加が不可能になった場合は、早急に SAF 日本事務局まで通知すること。 ・帰国後、留学先大学からの成績証明書を SAF 日本事務局まで提出すること。 ・留学前に実施する奨学金授与式、留学中に米州住友商事が実施する研修、帰国後に実施する留学報告会への参加を必須とする。 ・以下のいずれかに該当した場合は、内定の取り消し、または奨学金の支給を停止することがある。場合によっては既に支給した奨学金の返還を求めることがある。 <ol style="list-style-type: none"> 1: 1年間のアメリカの大学との交換留学への参加が不可能になった場合、もしくは途中で中止になった場合 2: 在籍大学または留学先大学から留学の継続が不相当と判断された場合 3: 本奨学金プログラムの関連行事・研修を無断で欠席した場合 4: 留学先での学業成績が不良(単位取得不可等)の場合 5: 法律や社会秩序に反する行為を行った場合 6: 予定より著しく早く帰国した場合 7: 虚偽の申告をしていることが判明した場合 8: 必要な書類が期日までに提出されなかった場合 9: 応募条件が満たせなくなった場合 10: 米日カウンシル、住友商事、SAF の名誉に傷つける行為を行った場合
<p>本奨学金プログラムに関するお問い合わせ先</p>	<p>SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局(SAF 日本事務局) (TOMODACHI プログラム実施パートナー) TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム担当</p> <p>〒163-1307 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー7F #1578 Tel: +81-(0)3-5321-6222 Fax: +81-(0)3-5321-6672 Email: tomodachi@studyabroadfoundation.org URL: http://japan.studyabroadfoundation.org</p> <p>※お問い合わせの際には、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨をお知らせください。</p> <p>※プログラムの詳細は別紙パンフレット「2017年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム 第4期生募集」をご覧ください。お持ちでない場合は、SAF 日本事務局までお問い合わせください。</p> <p>※プログラムの詳細は以下の TOMODACHI イニシアチブのサイトでもご覧いただけます。 http://usjapantomodachi.org/ja/</p>